事業番号	288

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	図書館建設事業							担当部	教育委員会事務局	
	会計区分	一般会計		事業類型	実施計画事業				担当課	新図書館建設推進室	
	事業期間	平成26年度	～	平成30年度					担当係	推進係	
	総合計画分野別計画 主目的	4 教育文化	16 生涯学習	図書館サービスを充実します							
	総合計画分野別計画 副目的								実施計画対象	○	
	予算区分	款	10	項	5	目	9	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画	図書館法、小牧市立図書館の設置及び管理に関する条例、小牧市立図書館規則、新小牧市立図書館建設基本計画									
	目的（対象をどの様な状態にするのか）	現図書館の老朽化と狭隘化の問題に対応するとともに、利用者の利便性向上を図り、今以上に図書館を利用したくなる付加価値を備えることにより、利用者の増加や中心市街地の賑わい創出につなげる。									
	内容（手段）	平成26～27年度：基本設計　平成27～28年度：実施設計 平成28～29年度：工事施工、引越　平成30年度：供用開始予定 ○26年度実施内容 老朽化した現在の図書館に替わる新図書館を現在の小牧駅西駐車場、にぎわい広場に建設することを決定し、また、新図書館の建設、指定管理者制度の導入のために、「小牧市立図書館の設置及び管理に関する条例」の改正を行った。 官民パートナーシップ(PPP)の取組みとして、新図書館の設計段階から市及び設計業者にアドバイス支援を行う連携民間事業者を公募型プロポーザル方式により選定した。 設計業者を公募型プロポーザル方式により選定し、基本設計に着手した。 【26年度直接経費の内訳】 報償費182千円（プロポーザル審査委員謝礼） 旅費177千円 需用費41千円（消耗品費39千円、食糧費2千円） ○27年度実施内容 26年度に引き続き、連携民間事業者のアドバイスを受けながら、設計業務を進めるとともに、用地測量及び地質調査を行う。 【27年度直接経費の内訳】 報償費252千円（立会者謝礼24千円、検討会議委員謝礼228千円） 旅費1,086千円（費用弁償166千円、普通旅費305千円、特別旅費615千円） 需用費33千円（消耗品費30千円、食糧費3千円） 委託料55,436千円（基本設計アドバイザー支援委託2,096千円、基本設計委託46,440千円、地質調査委託4,200千円、測量委託2,700千円） 工事請負費900千円（来館者数計測機器設置工事） その他15千円（有料道路・駐車場使用料）									
	受益者負担	無									

				単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
コスト	費用	直接経費		千円			400	57,722
		正職員	従事者数	人			3.00	3.00
			人件費	千円	0	0	15,780	15,780
		その他職員	従事者数	人			0.00	0.00
			人件費	千円			0	0
		費用合計		千円	0	0	16,180	73,502
		対前年比		%		#DIV/0!	#DIV/0!	454.2
	財源	一般財源		千円	0	0	16,180	73,502
		国・県支出金		千円			0	0
		その他財源		千円			0	0

事業番号	288

業績	活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	基本設計の進捗状況	%	目標			—	—
			実績			10	
	実施設計の進捗状況	%	目標				—
			実績				
			目標				
			実績				

成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
基本設計の進捗状況	%	目標			—	—
		実績			10	
実施設計の進捗状況	%	目標				—
		実績				

事業の自己評価			
平成26年度の実施結果	事業の達成状況	当初予定どおり、指定管理者制度導入のため、「小牧市立図書館の設置及び管理に関する条例」を改正した。 また、設計に対しアドバイスをいただく連携民間事業者及び設計業者を公募型プロポーザル方式により選定し、基本設計に着手した。	
	事業実施における課題	設計業務を推進するにあたり、議会や市民、図書館協議会、各種ボランティア団体への丁寧な説明や意見聴取が必要である。 新図書館建設にあわせて整備する小牧駅周辺整備事業との調整が必要である。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	現図書館の老朽化と狭隘化の問題に対応できず、利用者の利便性向上を図ることができない。	
平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	現在の新図書館建設計画に関する住民投票において、反対多数となる結果を受け、ゼロベースから新図書館について議論を再スタートさせることとし、市民や学識経験者等からなる「新小牧市立図書館建設審議会」の設置に向けて事務を進める。	
平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維　持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの （対象や手段を見直す場合も含む）
	判定理由	現図書館の老朽化と狭隘化の問題に対応するため、引き続き、新図書館建設事業を推進する必要があるため。	
	28年度以降の改善案	「新小牧市立図書館建設審議会」でとりまとめられた提言を踏まえ、新図書館の建設方針を策定する。	

二次評価	方向性の判定	判　定　理　由
	維　持	一次評価のとおり。